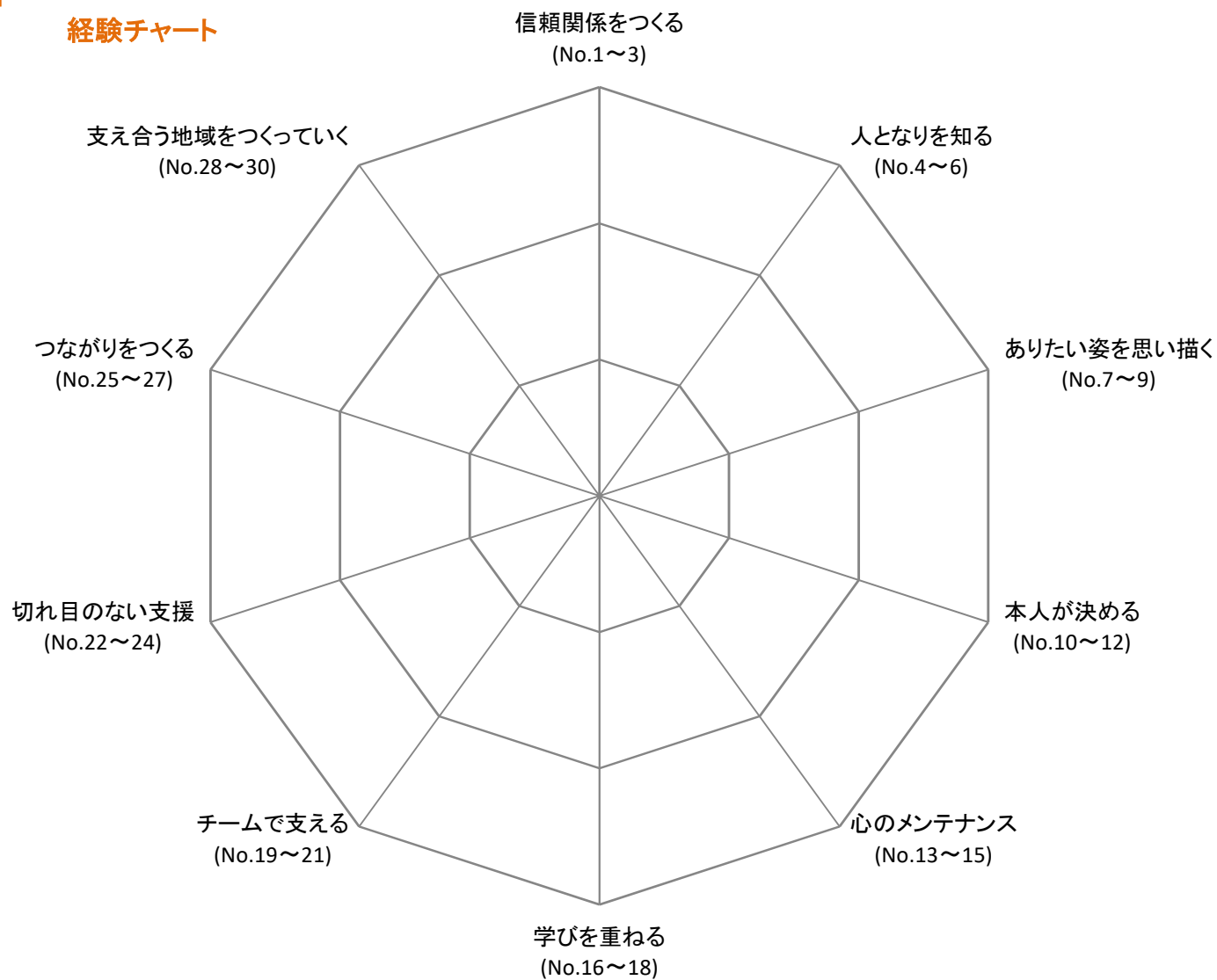


「ソーシャルワーク実践のためのパターン・ランゲージ」経験チェックシート

グループ	ソーシャルワーク実践のためのパターン	Solution	実践チェック ○	グループの 合計ポイント 0～3
信頼関係をつくる	1. はじめましてのメッセージ	自分の役割とともに、「これからの生活を一緒に考えていきます」というメッセージを伝えることで、少しでも安心感を持ってもらえるようにします。		
	2. まずは心の動くことから	何気ない雑談の中からその人の感情が動く部分に着目するなどして、本人が大切にしていそうなことを見つけていきます。		
	3. とともに過ごす	わからないことがあっても焦らず、繰り返し訪問したり一緒に出掛けたりして同じ時間を過ごすことで、良い流れを作っていきます。		
人となりを知る	4. 「実は・・・」のサイン	本人の言葉にできていない気持ちと発言との間にギャップがないかなど、言葉以外の部分にも着目しながら本心に近づけるようにします。		
	5. 生きてきた日々	これまでどのように生きてきたのか、課題に直面したときにどのように乗り越えてきたのかを知ることで、本人の考え方や行動につながる背景や本人の培ってきた力を理解するようにします。		
	6. ニーズの発掘	今まで得た情報や専門的な知識を総動員して想像力を働かせながら、仮説と検証を繰り返し、本人も気づいていない本当のニーズに近づけるようにします。		
ありたい姿を思い描く	7. 小さな一歩から	本人の望む暮らしに近づけるように、まずは手の届きそうな目標を設定し、できることを一つずつ増やしていきけるようにします。		
	8. 「やりたい」の発見	本人が好きなことや楽しいと感じることに目を向けて、本人が意欲を持って取り組めることは何かを考えていきます。		
	9. 思いの代弁	支援計画の根拠となるアセスメント結果だけでなく、本人の思いも代弁することで、他職種の理解を得て協力してもらえるようにします。		
本人が決める	10. 「決める」を支える	本人の不安な気持ちに寄り添いながら一つずつ解消していくことで、自分自身で決められるようにサポートします。		
	11. その時々の気持ち	一度決まった結論に向かいながらも、本人を取り巻く環境に気を配りつつ対話を重ねていき、その時々思いやニーズを捉えることで、「今」必要な支援は何かのかを考え続けます。		
	12. 待つことも支援	反応がすぐに得られなくても、気にかけ続けることで、本人の気持ちの動くタイミングを逃さないようにします。		
心のメンテナンス	13. 見え方の変換	目の前の出来事にそのまま向き合うだけでなく、見方や捉え方を変えることで、気持ちを切り替えていくようにします。		
	14. 思い切って話す	信頼できる仲間に自分の悩みや失敗してしまったことなどを思い切って話してみることで、現状を変える糸口を見つけていくようにします。		
	15. 実践と学びのサイクル	新しいケースや課題に出会うたびに、関連する知識・情報を調べたり、専門職に意見を求めたり、ときには基本に立ち戻ったりしながら地道に引き出しを増やしていくようにします。		
学びを重ねる	16. 気づきの後押し	後輩が実際に体験したことを一緒に振り返ることで、次につながるような気づきを促します。		
	17. リアルに感じる	サービスを提供する事業所や地域の気になる場などには直接出向いて、その特色や雰囲気を感じるようにします。		
	18. 未知への扉	積極的に他分野の研修や勉強会に参加したり、他分野の人と交流する機会を作ったりして、自らの視野を広げていきます。		
チームで支える	19. 言葉のすり合わせ	相手の事情や状況を理解しつつ対話を重ね、言葉の認識を合わせていくことで、お互いに納得いく合意をつくっていくようにします。		
	20. チームのデザイン	チームのメンバー全員で支援の方向性を共有して、それぞれの役割を明確にすることで、メンバー一人ひとりの動きを合わせるようにします。		
	21. 多職種のハーモニー	本人を取り巻く状況を俯瞰的な立場で見渡し、それぞれの職種・立場からの意見を取り入れながら、こまめにチームで確認を続けることで、本人の価値観を大切にしながら最適な支援を実現できるようにします。		
切れ目のない支援	22. つながる工夫	相手をお願いするだけでなく、自分と一緒に動くことを伝え、快く対応してもらえるようにします。		
	23. 「のりしろ」の重ね合い	その解決のために関係機関それぞれが一步踏み出して歩み寄り、知恵を出し合い、必要な人に支援が届くように動いていきます。		
	24. 頼れる仲間	利用者の支援や会議・研修などの様々な場面で関係者と会う機会を活かし、信頼できるネットワークをつくっていくことで、迷ったり困ったりしたときに相談できる先を持つておくようにします。		
つながりをつくる	25. Weで支える	日頃から職場の中で自分の仕事の進捗を共有しておくことで、メンバーの誰であっても対応できるようにします。		
	26. 受け止めつなぐ	どんな相談でもいったん受け止め、自分のところだけで解決できなければ速やかに適切な機関につなぐことで、どこにでも安心して相談できるようにします。		
	27. 話したくなる存在	相談を待つだけでなくこちらからも働きかけ続けることで、「ちょっと話してみようかな」という気持ちを引き出すようにします。		
支え合う地域をつくっていく	28. 暮らしのいろいろ	公的サービスだけでなく、地域の多様な資源も活用することで、可能性を拡げながら本人の希望に沿った暮らしが実現できるようにします。		
	29. ゆるやかな支え合い	地域で支え合うことの大切さを呼びかけたり、理解してもらう機会をつくったりすることで、地域住民でできることは何か、地域全体に広めていくにはどうすればよいかを一緒に考え続けるようにします。		
	30. ともにつくる未来	一人ひとりが自分らしく安心して暮らせる地域を思い描き、「人それぞれ」の個別課題から「みんな一緒」の地域課題を抽出して解決することで、誰もが住みやすい地域をつくっていくようにします。		

「ソーシャルワーク実践のための
パターン・ランゲージ」

経験チャート



「ソーシャルワーク実践のための
パターン・ランゲージ」

経験チャート

